

【教育目標】
心豊かな生徒
自ら学ぶ生徒
たくましい生徒

桐の里だより



令和元年7月号 三島町立三島中学長

1 立志式 7月12日(金) 13:00 三島町交流センター山びこ

三島町長 様、三島町議会議長 様をはじめ多くのご来賓の方々をお迎えして、令和元年度の立志式を挙行了いたしました。5名の2年生が一人一人の「立志の言葉」を発表し、これからの人生を歩んでいく上での決意を堂々と表明しました。



2年生が発表した「立志の言葉」と広辞苑で述べられている意味を紹介します。これまでの自身の生活を振り返り、今後の人生を歩んでいく上で大切にしたい言葉として発表しました。



〇〇〇〇

一心不乱

一つの事に心を注いで他の事のために乱れないこと。



〇〇〇〇

勇猛果敢

勇敢に立ち向かい、大胆に行動すること。



〇〇〇〇

冷眼熱心

冷静な目で、一つの物事に深く打ち込むこと。



〇〇〇〇

一簣之功

最後のちょっとしたほねおり。



〇〇〇〇

一往直前

ひととおりのめらわずに進むこと。

<式辞抜粋>

(前略) 本日、ここに立志式を迎えられた五名の2年生の皆さん、おめでとうございます。立志式というのは、昔の成人式にあたるものです。数え年で十五歳、現在の年齢で十四歳の時に元服の祝いをしていたことに由来します。

今の時代、十四歳という年齢で大人の仲間入りをし、自分の進むべき方向を定め、それを成し遂げるべく努力することは、いさか早いような気がするかも知れませんが、しかし、一年後の中学卒業時には自分で進むべき道を選択しなければならぬのは、今の時代での常識でもあります。また、目まぐるしく変化する社会情勢の中、人口の減少、少子高齢化の波は、例外なく、皆さんの住むこの三島町にも押し寄せており、身近なところで、部活動という形で、皆さんの住むこの三島町にも影響が及んでいます。国は、目指すべき未来社会の姿として、自動走行の車による移動や、ドローンを使つての宅配、インターネットを使つた医療受診、冷蔵庫にあるもので作る自動調理など、人工知能AIや先端技術を駆使し、高齢化社会や過疎地でも不自由なく生活できる新たな社会、ソサエティ5.0を提唱しました。しかも、すでに実験段階に入っているものも多く、かなり近い将来になってきていと言えます。そんな世の中が、皆さんが社会の担い手となる十年後から十五年後を待たずして、実現すると推測されます。そう考えると、今の世の中、決してこの年齢での立志は早すぎるものとは思えません。皆さんは、今日発表した「立志の言葉」を胸に、それぞれの未来に向かって進んでいくことと思います。そこでいろいろな知識や技術を習得し、大きく花開くことでしょうか。その時、皆さんの根っこはどこにあるのでしょうか。そう、大きく花開いた皆さんの根っこは、皆さんが大好きなこの三島町にあるのです。この地で生まれ育つたからこそわかる良さを、文化を、自然を損なうことなく、習得した知識や先端技術を駆使し、さらに三島町を発展させるアイデアを考えてほしいと思います。今、国が提示している例は、あくまでも首都圏や人口密集地から見えて想定されるものに過ぎません。皆さんが担う未来に必要なことは、三島町から見て想定されるソサエティ5.0です。それは、ここで生まれ育つた皆さんだからこそのことだと考えます。日本各地いや世界各地どこからでも、どんな分野でも、ここ三島町に向けて発信できます。十四歳、早すぎません。今から始めなければ間に合わないところまで来ています。You can do it. みなさんなら、自分の進むべき道を定め、頑張り続けることができます。一緒にがんばりましょう。(後略)

2 長谷川ファミリーほのほのコンサート 7月3日(水)



PTA 教養委員会主催によるコンサートが行われ、地域の皆さんとともに生演奏、バレエ、歌、そしてクイズで楽しいひと時を過ごしました。

【今月の1枚】

虫送り
(大石田地区)
7月13日
より

